

○東京藝術大学大学院映像研究科教授会におけるテニユア付与審査要項

〔平成30年3月13日
教授会決定〕

この要項は、「東京藝術大学テニユアトラック教員の中間審査及びテニユア審査の実施要項（平成28年7月21日制定）」（以下、「上位要項」）第6条に基づき、策定するものであり、大学院映像研究科教授会に配置されるテニユアトラック教員のテニユア付与審査の方法等は下記のとおりとする。

審査の種類	中間審査（上位要項第7条）、テニユア審査（上位要項第11条）
審査会議の構成	<p>1. 上位要項第8条第1項（1）、第12条第1項（1）に規定する構成員は下記のとおりとする。</p> <p>ア. 当該テニユアトラック教員が属する領域の領域長 1名</p> <p>イ. 当該テニユアトラック教員が属する専攻の大学院映像研究科運営委員 1名</p> <p>ウ. 当該テニユアトラック教員が属する専攻の教授 1名</p> <p>2. 1. のア、イの者が、当該テニユアトラック教員の研究指導教員経験者に当たる場合（上位要項第8条第1項本則、第12条第1項本則）は、当該テニユアトラック教員が属する領域の大学院映像研究科運営委員から選考する。</p> <p>3. 1. のウに規定する教授に、専門分野との関連で適任者を得ることができない場合は、准教授をもって充てることのできる。（上位要項第8条第2項、第12条第2項）</p> <p>4. 上位要項第8条第1項（2）、第12条第1項（1）に規定する構成員は下記のとおりとする。</p> <p>ア. 当該テニユアトラック教員が属する専攻の大学院映像研究科運営委員が推薦する外部の専門家 1名</p> <p>5. 審査会の構成員については、審査会の時期の1ヶ月前までを目途に選考するものとする。</p>
審査会議の時期	<p>1. 中間審査 採用後2年を経過してから、2年4ヶ月が経過するまでに実施するものとする。</p> <p>2. テニユア審査 採用後3年6ヶ月が経過してから、3年10ヶ月が経過するまでに実施するものとする。</p>
評価資料	<p>1. 業績項目調書（様式1-1）</p> <p>2. 目標管理調書（様式2）</p>

<p>評価資料の提出</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業績項目調書（様式1-1）は、採用後、原則として毎年9月末現在で10月末までに提出する。 2. 目標管理調書（様式2）は、採用後3ヶ月以内に、任期中の教育研究等についての目標を記載して提出し、原則として採用後、毎年9月末現在で10月末までに活動状況を報告する。 3. 1. 2. に関わらず、業績項目調書（様式1-1）及び目標管理調書（様式2）の活動状況については、審査会議の時期に合わせて、提出を求めることができる。
<p>評価対象項目及び評価基準</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価対象項目は、項目評価調書（様式1-2）の1.に記載の6項目のうち、原則として教育、研究、大学運営の3項目とし、残りの3項目については、被評価者が目標管理調書（様式2）に目標を記載・提出後、研究科長と面談し、評価対象項目とするかどうかを決定する。（残りの3項目について評価対象項目としない場合は、それぞれの細目について、その内容に応じて教育、研究、大学運営に振り分けて評価に加味する。（別紙1）） 2. 中間審査会議、テニユア審査会議では評価資料に基づき、合議により評価する。 3. 項目評価基準は項目評価調書（様式1-2）の2.に記載のとおりとする。なお、評価に当たっては、被評価者から提出される業績項目調書（様式1-1）に記載の実績だけでなく、目標管理調書（様式2）に記載の活動状況も加味するものとする。 4. 中間審査、テニユア審査の評価基準は項目評価調書（様式1-2）の3.及び4.に記載のとおりとする。 5. 評価結果は、項目評価調書（様式1-2）により、評点で示すと共に、中間審査において「S」又は「C」、テニユア審査において「C」となった場合には、その理由をまとめた所見を付すものとする。
<p>テニユア付与後の職位</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. テニユア付与後の職位については、テニユア審査において「可」とした場合、テニユア付与後の職位については、原則として1つ上位の職位とする。ただし、テニユア審査において、評価対象項目の評点に「△」があった場合は、現職に留めることができる。 2. 現職に留めることとした場合、その理由をまとめた所見を付すものとする。
<p>評価結果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中間審査会議、テニユア審査会議の評価結果は、大学院映像研究科運営委員会、及び教授会で審議のうえ決定し、芸術研究院運営会議へ報告する。

附 則

本要項は、平成30年3月13日より施行し、平成30年4月1日より適用する。

業 績 項 目 調 書

年 月 日現在

基本情報

氏名・所属等

氏名	漢字・原語	○○ ○○
	カナ	◇◇◇ ◇◇◇
	ローマ字	XXXXXX, Yyyyyy
性別		■
生年月日		xxxx 年 xx 月 xx 日
所属		東京藝術大学 ●●●●●●●
研究分野		
職名		◆◆◆
連絡先	住所（個人）	
	電話番号（個人）	
	FAX番号（個人）	
	メールアドレス	
科学研究費補助金研究者番号		ZZZZZZZZ

学歴

出身大学等	1	xxxx . x	△△大学	▲▲学部	○○学科	卒業
	2	.				
	3	.				
	4	.				
	5	.				
	6	.				
出身大学院	1	xxxx . x	△△大学大学院	▲▲研究科	○○専攻	修了
	2	.				
	3	.				
	4	.				
	5	.				
	6	.				

取得学位

1	学士（美術）	△△大学
2	修士（美術）	△△大学

職歴等

	就任期間		職 歴
1	xxxx . x ~ xxxx . x	■■大学■■学部准教授	
2	xxxx . x ~ xxxx . x	■■大学■■学部教授	

所属学会等

1	××学会	
2	××学会	

使用する外国語

1	英語	
---	----	--

(1) 教育実績

担当授業科目

	年度	対象学生	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名
1	XXXX 年度	学部	●●●●	△△△△			
2	XXXX 年度	学部・大学院	■ ■ ■ ■				
3	年度						
4	年度						
5	年度						
6	年度						
7	年度						
8	年度						
9	年度						
10	年度						
11	年度						
12	年度						
13	年度						
14	年度						
15	年度						
16	年度						
17	年度						
18	年度						
19	年度						
20	年度						

指導学生数

	年度	学部	修士	博士	別科	附属高校	研究生
1	XXXX 年度	○	▲	△	■	□	●
2	年度						
3	年度						
4	年度						
5	年度						

学位授与数

	年度	修士	博士
1	XXXX 年度	▲	△
2	年度		
3	年度		
4	年度		
5	年度		

学位審査会の担当件数

	年度	修士主査	修士副査	博士主査	博士副査	博士 作品・論文 第一副査	論文博士 主査	論文博士 審査委員 長	論文博士 副査
1	XXXX 年度								
2	年度								
3	年度								
4	年度								
5	年度								

教育手法、教材の作成・改善等

年度	作成・改善内容
1 XXXX 年度	●●●●●●
2 年度	
3 年度	
4 年度	
5 年度	

その他の教育実績

年度	内 容
1 XXXX 年度	□□□□□□
2 年度	
3 年度	
4 年度	
5 年度	

(2) 研究業績

研究課題

	研究期間	課題名	研究態様	共同研究者名及び機関名
1	XXXX . X ~ XXXX . X	□□□□□□	個人研究	
2	XXXX . X ~ XXXX . X	△△△△	共同研究	●● ●●
3	. ~ .			
4	. ~ .			
5	. ~ .			
6	. ~ .			
7	. ~ .			
8	. ~ .			
9	. ~ .			
10	. ~ .			

研究業績（創作活動等）

	実施期間	種別	業績名及び発表場所等	概要
1	XXXX . X ~ XXXX . X	展覧会	■ ■ 展	◆ ◆ ◆
2	. ~ .			
3	. ~ .			
4	. ~ .			
5	. ~ .			
6	. ~ .			
7	. ~ .			
8	. ~ .			
9	. ~ .			
10	. ~ .			
11	. ~ .			
12	. ~ .			
13	. ~ .			
14	. ~ .			
15	. ~ .			
16	. ~ .			
17	. ~ .			
18	. ~ .			
19	. ~ .			
20	. ~ .			

研究業績（著書・発表論文等）

	発表年月	種別	著書又は発表論文等の題名	執筆種別	共著者名	著者名	掲載誌名	出版社	巻	号	頁	概要
1	XXXX . X	著書	○○○○○○○	単著				▲▲出版				
2	.											
3	.											
4	.											
5	.											
6	.											
7	.											
8	.											
9	.											
10	.											

受賞

受賞年月	作品名又は業績名	受賞名	国内外別	概要
1 XXXX . X	■■■	◇◇賞	国内	
2 .				
3 .				
4 .				
5 .				
6 .				
7 .				
8 .				
9 .				
10 .				

学会発表

発表年月	発表名	学会名	発表場所	国内外別
1 XXXX . X	○○○○○○	××学会		国内
2 .				国内
3 .				国内
4 .				国内
5 .				国内
6 .				国内
7 .				国内
8 .				国内
9 .				国内
10 .				国内

科学研究費補助金

実施期間	課題名	研究種目	研究態様	実施形態
1 XXXX . X ~ XXXX . X	□□□□□□	基盤研究(B)	個人研究	研究代表者
2 . ~ .				
3 . ~ .				
4 . ~ .				
5 . ~ .				

特許等

取得年月	種別	特許等の名称
1 .		
2 .		
3 .		
4 .		
5 .		

その他の研究業績

年度	内容
1 年度	
2 年度	
3 年度	
4 年度	
5 年度	

(3) 社会貢献

学外委員会等の委員

	就任期間	委員会等の名称及び職名	種別
1	XXXX . X ~ XXXX . X	××委員会委員	国・地方自治体等の委員
2	. ~ .		
3	. ~ .		
4	. ~ .		
5	. ~ .		

公開講座・学外講師・講演

	実施期間	公開講座等の名称	主催者及び開催場所	概要
1	XXXX . X ~ XXXX . X	○○講座	東京藝術大学	
2	XXXX . X ~ XXXX . X	◆◆講演会	□□市 ◇◇センター	
3	. ~ .			
4	. ~ .			
5	. ~ .			

他大学での非常勤講師等

	実施期間	大学名・職名
1	XXXX . X ~ XXXX . XX	■■■大学非常勤講師
2	. ~ .	
3	. ~ .	
4	. ~ .	
5	. ~ .	

その他の社会貢献

	実施期間	内 容
1	. ~ .	
2	. ~ .	
3	. ~ .	
4	. ~ .	
5	. ~ .	

(4) 産学連携

受託研究等

	実施期間	受託研究等の名称	種別	実施形態	依頼者
1	XXXX . X ~ XXXX . X	□□に関する研究	受託研究	研究代表者	××市
2	XXXX . X ~ XXXX . X	▲▲事業	受託事業		〇〇市
3	XXXX . X ~ XXXX . X	■ ■に関する研究	共同研究		■ ■ (株)
4	XXXX . X ~ XXXX . X	△△事業	共同事業		● ● 県
5	. ~ .				
6	. ~ .				
7	. ~ .				
8	. ~ .				
9	. ~ .				
10	. ~ .				

(5) 国際

外国人留学生受入数

	年度	学部	修士	博士	研究生
1	XXXX 年度		▲	△	
2	年度				
3	年度				
4	年度				
5	年度				

海外渡航（海外研究活動）

	渡航期間	渡航先機関	渡航先（国）	渡航目的	経費負担者
1	XXXX . X . X ~ XXXX . X . X	●●大学	○○	資料収集	自費
2	. . ~ . .				
3	. . ~ . .				
4	. . ~ . .				
5	. . ~ . .				
6	. . ~ . .				
7	. . ~ . .				
8	. . ~ . .				
9	. . ~ . .				
10	. . ~ . .				

学会発表

	発表年月	発表名	学会名	発表場所	国内外別
1	XXXX . X	○○○○○○○	××学会		国外
2	.				国外
3	.				国外
4	.				国外
5	.				国外
6	.				国外
7	.				国外
8	.				国外
9	.				国外
10	.				国外

その他の国際活動

	実施期間	内容
1	. ~ .	
2	. ~ .	
3	. ~ .	
4	. ~ .	
5	. ~ .	
6	. ~ .	
7	. ~ .	
8	. ~ .	
9	. ~ .	
10	. ~ .	

(6) 大学運営上の貢献

学内委員会等の委員

	就任期間	委員会等の名称	種別
1	XXXX . X ~ XXXX . X	〇〇室	理事室
2	XXXX . X ~ XXXX . X	■■運営委員会	全学委員会
3	XXXX . X ~ XXXX . X	△△学部◆◆委員会	部局内委員会

全学プロジェクト等

	期間	内容
1	XXXX . X ~ XXXX . X	××プロジェクト

部局マネジメント等

	期間	内容
1	XXXX . X ~ XXXX . X	●●●●●●

項目評価調書

所属: _____

被評価者: _____

1, 評価項目

項目	評価対象	細目等	実績数	項目評価 の評点	中間審査 / テニユア審査 の評点
教育		担当授業科目			
		学部			
		大学院			
		附属高校			
		指導学生数			
		学部			
		修士			
		博士			
		別科			
		附属高校			
		研究生			
		学位授与数			
		修士			
		博士			
		学位審査			
		修士			
		主査			
		副査			
		課程博士			
		主査			
		副査			
		作品・論文第一副査			
		論文博士			
主査					
審査委員長					
副査					
教育手法、教材の作成・改善等					
その他の教育実績					
研究		研究課題			
		研究業績(創作活動等)			
		研究業績(著書・発表論文等)			
		受賞			
		学会発表(国内)			
		科学研究費補助金			
		特許等			
		その他の研究業績			
社会貢献		学外委員会等の委員			
		公開講座・学外講師・講演			
		他大学での非常勤講師等			
		その他の社会貢献			
産学連携		受託研究			
		受託事業			
		共同研究			
		共同事業			
国際		外国人留学生受入数			
		海外渡航(海外研究活動)			
		学会発表(国外)			
		その他の国際活動			
大学運営		学内委員会等の委員			
		学内プロジェクト等			
		部局マネジメント等			

2. 項目評価基準

評点	評価基準
◎	被評価者の専門的分野において極めて顕著な業績があると客観的に認められる場合 本学における教育、大学運営等において極めて大きな貢献があったと認められる場合
○+	期待を上回る業績であると認められる場合
○	期待どおりの業績をあげていると認められる場合
△	期待を下回る業績と認められる場合

3. 中間審査基準

評点	評価基準	テニユア付与に関する判断
S	期待を極めて大きく上回る業績を上げており、今後さらに大きな成果が期待できる。(目安:評価対象項目のすべてが○+以上で、かつ◎がある場合。)	上位要項第15条に規定するテニユア審査の前倒しを行うことを適当と認める。
A	順調に業績が上がっており、今後さらに大きな成果が期待できる。(目安:評価対象項目のすべてが○以上の場合)	テニユアトラック教員として引き続き教育研究に従事することを適当と認める。
B	やや期待を下回るが、今後に期待ができる。(目安:評価対象項目に○以上も有るが、△がある場合。)	テニユアトラック教員として引き続き教育研究に従事することを適当と認める。
C	実績が不十分で、今後に期待ができない。(目安:評価対象項目が全て△の場合。)	テニユアトラック期間終了後の転身を検討するよう奨めるものとする。

3. テニユア審査基準

評点	評価基準	テニユア付与
A	期待以上の成果が上がっている。(目安:評価対象項目のすべてが○以上かつ○+以上が1つ以上ある場合)	可
B	期待どおりの業績が上がっている。(目安:評価対象項目のうち、△は1つ以下の場合)	可
C	実績が不十分で、今後に期待ができない。(目安:評価対象項目のうち、△が2つ以上の場合。)	任期満了

項目	細目等	振り分け先
社会貢献	学外委員会等の委員	教育又は研究又は大学運営(内容による)
	公開講座・学外講師・講演	教育
	他大学での非常勤講師等	教育
	その他の社会貢献	教育又は研究又は大学運営(内容による)
産学連携	受託研究	研究
	受託事業	教育又は研究(内容による)
	共同研究	研究
	共同事業	教育又は研究(内容による)
国際	外国人留学生受入数	教育
	海外渡航(海外研究活動)	研究
	学会発表(国外)	研究
	その他の国際活動	教育又は研究(内容による)

目標管理調書

被評価者	所属：	職名：	氏名：	
------	-----	-----	-----	--

	被 評 価 者 記 載 欄	
	目 標	取 組 実 績
業 績 目 標		

目標管理調書

被評価者	所属:	職名:	氏名:	
------	-----	-----	-----	--

	被 評 価 者 記 載 欄	
	目 標	取 組 実 績
業 績 目 標	<p>別紙様式1の各項目に関連付けて、 テニュアトラック期間中の目標を記入して下さい。 (取り組んでいきたい研究テーマ、教育面で実践 したいこと、学科・専攻等運営に関すること、な どを含めて記入して下さい。</p> <p>※採用後3ヶ月以内に提出</p>	<p>※採用後1年ごとに目標に対する活動状況を 記入して提出する。</p>